

令和8年度予算見積調書

課室名：環境政策課

担当名：企画調整・環境影響評価担当

内線：3039

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P2	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費	一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境科学国際センター費
事業期間	令和8年度～令和12年度	根拠法	環境基本法第36条	針路分野施策	10 1007	豊かな自然と共生する社会の実現 公害のない安全な地域環境の確保 SDGsゴール3, 6, 7, 9, 11, 12, 13 SDGsターゲット3-9, 6-1, 6-3, 6-6

1 事業の概要

環境の常時監視や、重大・緊急な環境問題の速やかな原因究明、新たな環境問題への対応など、センターに期待される役割と機能を果たしていくために、研究機器の整備を行う。

ア 環境科学国際センター分析研究機器整備事業費
62,138千円

2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

3 地方財政措置の状況

普通交付税(包括算定経費)
(区分)企画費(細目)環境保全対策費
(細節)環境保全対策費(積算内容)環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員
9,500千円×38人=361,000千円

5 事業説明

(1) 事業内容

ア 環境科学国際センター分析研究機器整備事業費

旧公害センター時代から移管あるいはセンターの設立に際して購入した故障や機能低下の著しい機器、並びに、行政からの要望やセンター中期計画を考慮した研究遂行上必要な機器について、5か年(令和8年度～12年度)で計画的に更新、修繕(部品の追加を含む。)及び新規購入し、センターの分析研究機能の維持を図る。

- (ア) 高速液体クロマトグラフ/タンデム四重極型質量分析計(LC/MS/MS) 35,000千円
- (イ) 可視・熱赤外線カメラ搭載ドローン 6,274千円
- (ウ) ガスクロマトグラフ 6,919千円
- (エ) 植物生育環境制御・ガス暴露装置の空調ユニット 10,329千円
- (オ) ダイオキシン類測定用排出ガス採取装置 3,616千円

(2) 事業計画

5か年計画(令和8年度～12年度)

令和8年度 ①高速液体クロマトグラフ/タンデム四重極型質量分析計(LC/MS/MS)、②可視・赤外線カメラ搭載ドローン、③ガスクロマトグラフ、④植物生育環境制御・ガス暴露装置(空調ユニット更新)、⑤ダイオキシン類測定用排出ガス採取装置

令和9年度 ①ガスクロマトグラフ/トリプル四重極質量分析(GC/MS/MS)、②液体クロマトグラフ、③固相抽出装置(2台)

令和10年度 ①リアルタイムPCRシステム、②ICP質量分析計

令和11年度 ①イオンクロマトグラフ、②固相溶出送液装置

令和12年度 ①マイクロウェーブ試料前処理装置、②大気中水銀測定装置、③精密秤量天秤、④T-VOC計、⑤CHNコーダー、⑥全自動洗浄機

(3) 事業効果

試験研究により、持続可能な社会構築のための産業・地域人づくりを実現する

【活動指標(アウトプット)】環境モニタリングや事故対応などにおける分析件数 R8 5,600件(見込)

【成果指標(アウトカム)】環境基準値等の超過依頼に対する対応件数(100%)

研究成果の発表件数 R8 4,700件(累計)

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
	県債							
決定額	62,138	62,000					138	26,564
前年額	35,574	35,000					574	

事業内訳書

事業名	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費		
単位事業名	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費	予算額	62,138千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 総務債	62,000	27,000	試験研究機関等設備整備事業債
一般財源	138	△436	
合計	62,138	26,564	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
備品購入費	62,138	26,564	研究用備品購入費
合計	62,138	26,564	